

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：令和6年2月26日

事業所名：児童発達支援事業所 ナチュファミ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用人数や活動に合わせて部屋を使い分けている。	身体を動かす運動は広い空間を使用し、静かな活動は集中できる広さの部屋を利用するなど活動内容・利用人数に合わせて工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準を超えて配置しています。様々な場面に対応できるよう今後も配置してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		必要に応じて、絵カード等利用しながら子供たちにわかりやすいように提示している。	子供さんの特性に応じて声掛け等を工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			清掃とアルコール消毒を行っています。活動に合わせて、予測をたて安全確保に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の打ち合わせや振り返り等は毎日行っている。	当日の振り返り等、職員が把握できるよう申し送りノート等で連携をとっています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			問題解決が早くできるように保護者との連携をしっかりとるようにしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表の結果はホームページへ掲載していますが、取り組んだ改善内容等を掲載できるようにしたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会を立てていないため、今後取り組めるようにしたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		様々な研修に交代で参加している。	年間で研修計画を立てて参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的な連携を今後も継続していきたいと思います。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			半年ごとではなく、問題発生時にできせいで
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当に決めておらず、全員作成することができる。	全員で把握し、作成し今後も継続していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		繰り返しの活動を行う中で子供たちの状態を見ながら内容を発展させている。	子供たちの状況を見ながら、柔軟に対応できるよう、今後も職員同士話し合いを重ねていき、より良い活動ができるようにしていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			成長に合わせた計画を作成するため、職員で話し合いを重ねています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼で活動内容や、送迎等の役割分担の確認をしている。	全体のミーティングや、朝礼等で役割分担の確認をし今後も職員全員で把握できるようにしていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日行っている。専門の先生がいる日は助言をいただいたりする。	専門の先生の振り返りはもちろん日々の振り返り書類へ残し共有をしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動内容等を記載した活動日誌や・支援に対しての日々の様子などを記録した個別日誌にて記録を行っています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者・関係機関等定期的に連携をとり、計画の見直し等職員で協議しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当制にしているため、会議等ではできるだけ担当の職員が参画している。	担当の職員が会議に出席するが、会議の情報も全職員に共有するよう、書類等にまとめ、開示している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保育所・幼稚園・相談事業所と定期的に連携を図っている。	今後も、より良い連携ができるよう関係機関と定期的な連携を積極的に取ってきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	現在は医療ケアの必要なお子さんがいないため。	現在は医療ケアの必要なお子さんがいないため。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	現在は医療ケアの必要なお子さんがいないため。	現在は医療ケアの必要なお子さんがいないため。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等連携を通して定期的に情報共有を行っている。	保育所等の連携を定期的にとり、相互理解を計り、子供さんにとってより良い環境を作れるようにしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートを活用して情報をお伝えしている。	相互理解が図れるよう、定期的な情報共有の機会を計画しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		定期的な研修や情報共有の機会を作っている。	時事に応じての情報共有や問題解決につながるような時間を持つようにセンターからの発信を待つだけでなく、声掛けを行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		療育の活動として交流することはないが、就園しているお子さんが多いので子供さんたちは交流を行っている。	コロナの終息とともに、保護者や関係機関とも交流の場を今後さらに増やしていく予定。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			親子活動やメールなどで現在の様子や課題等を情報共有しています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		今後取り入れる機会があればいいと思っています。	プログラムとして今後行えるよう職員研修などでスキルアップに努めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			文書と合わせて説明をさせていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて面談を組んで支援できるようにしている。	気軽に相談できるような環境を作っていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会や親子遠足等を通して横につながりがもてるようにしている。	保護者会・親子活動・親子遠足等を通じて、保護者と協力しながらの活動等を組み入れ工夫しながら、より連携が取れるよう支援していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			時間帯によっては難しい場合もあるが、日頃から関係性を築くにあたり、日程調整をしながら十分な対応を行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年間行事や毎月の通信を通して発信している。	毎月通信を発行し、子供さんたちの様子や活動内容・行事予定等掲載している。またHPIにてブログを更新し活動の様子等発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには全職員十分に注意をはらって取り扱っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			通信の発信だけではなく、親子活動時やメールなどで情報伝達しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所内に留まりがちなので、今後地域に開かれた事業ができたと思う。	ナチュカフェを開催し広報したりしている。今後も地域住民の方にも気軽に来てもらえる場所作りをしたいと思っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを職員室に置き何時でも見れるようにしている。訓練等も実施しています。Kあい
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に訓練を行い避難経路・職員の動き子供への対応の仕方を確認して入る。	今後も継続して研修等を開催し職員の意識を高めるため、より周知していきたいと思います。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			事前に確認をしています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在アレルギーにあるお子さんの利用はありません。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった場合は書類を作成して、回覧にて事業所内で共有しています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会の設立をし、職員の研修の受講を施し、必要に応じて委員会を開催するようにしています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			命の危険を感じる場合のやむを得ない場合の拘束に対する説明は行っています。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)